

# 京仏連だより

第36号

編集・発行

京都府仏教連合会

理事長：安永 雄玄

事務総局

〒600-8501

京都市下京区堀川通花屋町下ル

本願寺寺務所内

TEL 075-371-5181 (代)

FAX 075-371-5310



令和5年度京都府仏教連合会花まつり（令和5年4月9日開催）

# ご挨拶

京都府仏教連合会

理事長 安永 雄玄



京都府仏教連合会の皆様におかれましては、平素より当会の諸活動に深いご理解とご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

まず、令和六年能登半島地震により、被災されました方々にお見舞い申しあげますとともに、お亡くなりになられた方々、さらにはご遺族の皆様へ、心から哀悼の意を表します。皆さまが、一日も早く日常の生活を取り戻されますことを願っております。

さて、二〇二二(令和四)年度の当会の活動をご報告申しあげますと、五月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが移行され、当会の活動・諸行事におきましても、本来の活動規模へ回復させるべく推進してまいりました。新たにホームページの開設をはじめ、

三年ぶりとなる仏教公演会の開催等、取り組んでまいりました。

二〇二三年(令和五)年4月9日には、恒例行事であります「花まつり」を制限がある中ではありましたが、四年ぶりに式典及びパレードを行い、賑々しく開催することができました。

当会の活動は、宗派の垣根を越え、積尊の説かれたみ教えのもと、社会の平和を願い、会員相互が連携し教化伝道を行っていくものであります。

当会の発展が、仏教の興隆、さらには人類永遠の福祉に寄与するべく、会員一人ひとりが夫々に精進してまいりましょう。

今後とも、皆様のお導きとお力添えを賜りますようお願い申し上げます。一言ご挨拶とさせていただきます。

### 京仏連活動報告

#### 二〇二二（令和四）年度

##### 釈尊成道会・就職永年勤続表彰

二〇二二（令和四）年十二月七日（水）、西本願寺阿弥陀堂において釈尊成道会を執り行った。

西脇隆俊知事の祝辞が届き「長年にわたり寺院を護り、それぞれの地域に息づく共生の文化を守り伝えてこられた。人間関係の希薄化がコロナ禍によって進む中でも今後とも府民の皆さまに寄り添っていただきたい。」と古川博規京都副知事より代読された。安永理事長は、「宗教界全体に対する風当たりが変化する他、仏教界においても葬儀の簡素化、人口減少や地方の過疎化、価値観の変化による宗教離れなどの多くの問題を抱え、それらは新型コロナウイルスの流行によってさらに拍車がかかりつつある。手遅れになる前に、仏教連合会一丸となって解決していきたい。」と述べた。

最後に授式者を代表して、勤続五十年表彰対象の森俊道住職（浄土真宗本願寺派 照圓寺）が挨拶をした。

なお、この度の対象者（総勢三十四名 次項参照）には、それぞれ表彰状と記念品が贈られた。また、式典後には京都東急ホテルにおいて祝宴を催した。



【釈尊成道会 法要の様子】

#### 二〇二二（令和四）年度

##### 仏教講演会

二〇二二（令和四）年十一月二十九日（火）、茶道藪内流第十四世家元 藪内紹

智氏を講師に迎え、「藪内流の歴史とその茶風〜京の茶家五百年の歩み〜」と題し、仏教講演会を開催した。

藪内氏は一九六七（昭和四十二年）、京都生まれ。二〇一五（平成二十七年）年六月、藪内流宗家十四世家元を襲名し、允齋斎竹卿（いんゆうさいちくけい）紹智を名乗り、次の時代につながる新たな期を築いている。



第十四世家元 藪内紹智氏

当日は、安永雄玄理事長の挨拶、講師紹介の後、約百名の大きな拍手で迎えらえての開演となった。藪内氏は、プロジェクトターを使用しながら日本茶と茶道及び藪内家の歴史から、茶道と仏教の歴史の関わりや、共通する精神性について語った。



【会場の様子】

アンケートでは、非常にわかりやすかった、お茶の世界を感じられてよかった等といったコメントが寄せられ、好評を博した。

二〇二三（令和五）年度  
花まつり

二〇二三（令和五）年四月九日（日）、浄土宗西山深草派の総本山 誓願寺本堂内において立誠仏教団及び京都府仏教連合会によって花まつり法要を厳修した。

新型コロナウイルス感染症の影響で、二〇一九（令和元）年から三カ年度、音楽法要及びパレードを中止するなど規模縮小を余儀なくされたが、本年は、内容を一部縮小はしたものの、四年ぶりに音楽法要及びパレードを行うことができた。

午前十一時より、誓願寺前の新京極通りで加盟教団の職員がアナウンスによる花まつりの説明を行い、集まった人々はお釈迦様のご誕生の話を聴き、関心を深めた。

併せて、誓願寺前の新京極通りでは、加盟本山の職員が、商店街を行き交う人々に甘茶のティーバッグや花の種を配布し、積極的に花まつりの広報活動を行った。

午後二時より、安永理事長より挨拶があり、引き続き音楽法要が、浄土宗西山深草派 倉内賢道誓願寺管長の導師のもと立誠仏教団と厳修された。

法要後には、龍谷大学吹奏楽部のブラスバンドや文教中・高等学校のバトン部、マスケットキャラクターら参加のもと、誓願寺前から新京極商店街や寺町商店街を巡る「花まつりパレード」を実施（※ルート縮小）し、演奏や横断幕、アナウンス等で花まつり周知活動を行った。

今回の花まつりは、コロナ禍以前の規模に戻し、さらに賑々しく法要や行事を営めるよう臨みたい。



【四年ぶりに行った「花まつり」パレード】

二〇二二(令和四)年度  
**京都府仏教連合会**  
**住職永年勤続表彰**  
**受賞者一覧(敬称略)**

■五十年知事表彰 四名

浄土真宗本願寺派  
 森 俊道 (照圓寺)

真宗大谷派  
 本井 義憲 (光專寺)

浄土宗  
 吉水 忠雄 (妙嚴院)

臨濟宗妙心寺派  
 岡野 桂道 (松源寺)

■四十年理事長表彰 十一名

浄土真宗本願寺派  
 熊本 義秀 (法行寺)

藤林 等 (西光寺)

真宗大谷派  
 桂 隆雄 (西乗寺)

相樂 裕暁 (法敬寺)

浄土宗  
 藤村 典主 (阿弥陀寺)

稲岡 憲雄 (寶藏院)

長谷川 正人 (光念寺)

勅使河原清順 (阿弥陀寺)

臨濟宗妙心寺派

東海 信昭 (慶應寺)

日蓮宗

浅野 耀泰 (垂光寺)

西山浄土宗

廣瀬 政友 (正覚寺)

■三十年理事長表彰 十九名

真宗大谷派

滋賀 俊正 (了徳寺)

武田未来雄 (浄泉寺)

浄土宗

大橋 秀暢 (妙誓寺)

伊藤 雅彦 (光福寺)

平 祐世 (壽仙院)

樹下 隆興 (如意寺)

佐藤 淳孝 (浄雲寺)

梶浦 文嗣 (香林寺)

奥野 雅司 (超圓寺)

原口 真一 (念故寺)

山口 貞博 (是住院)

大塚 和彦 (大圓寺)

大澤 亮我 (極楽寺)

横田 良生 (念佛寺)

臨濟宗妙心寺派

文珠 清道 (福壽院)

松本 正徳 (福壽寺)

日蓮宗

篠原 紘生 (本福寺)

以上

理事・評議員会 報告

■二〇二二(令和四)年度

第二回 理事・評議員会

日時 二〇二二(令和四)年三月十七日(金)

十四時より

会場 西本願寺

開法会館三階多目的ホール

【報告事項】

役員の変動について

【審議事項】

①二〇二三(令和五)年度事業計画(案)について

②二〇二三(令和五)年度歳入・歳出予算(案)につ

い

【審議結果】

全て承認

■二〇二三(令和五)年度

第一回 理事・評議員会

日時 二〇二三(令和五)年六月二十日(火)

十五時より

会場 西本願寺

開法会館三階多目的ホール

【報告事項】

役員の変動について

【審議事項(理事・評議員会共通)】

①二〇二三(令和四)年度事業報告及び決算について

②二〇二三(令和五)年度補正予算(案)について

【審議結果(理事・評議員会共通)】

全て承認

(役員名簿)

※二〇二四(令和六)年三月三十一日時点

西本願寺	安永 雄玄	◎
東本願寺	木越 渉	○
知恩院	貴田 善澄	○
妙心寺	野口 善敬	○
智積院	芙蓉 良英	○
醍醐寺	大原 弘敬	○
日蓮宗京都府第一部宗務所	小田 和幸	○
曹洞宗京都府宗務所	萩野 昌彦	○
光明寺	土江 賢祥	○
誓願寺	加藤 良邦	○
永観堂福林寺	奥垣内圭哲	○
興正寺	秦 直樹	○
佛光寺	八木 浄顯	○
本能寺	佐藤 泰慎	○
本禅寺	赤塚 日辰	○
妙蓮寺	佐野 充照	●
金戒光明寺	末本 樹哉	○
知恩寺	山本 正廣	○
清浄華院	稲岡 正純	○
大教寺	西山 恵龍	○
高野山京都別院	柏田 良辯	○
専修寺京都別院	安田 真源	○
中京仏教会	三縁 勝弘	○
花園仏教会	久下 浩文	○
多賀仏教会	石津 幸次	●
井手仏教会	明山 年洋	○
木津町仏教会	関加井良典	○
西本願寺	出羽 宏信	○

◎ 理事長 ○ 理事 ● 監事